

令和7年度 支援教育実践研修E（病弱に関する内容） 実施要項

- 1 目的 病気のある子どもの教育に関する知識や技能についての認識を深め、一人ひとりの障がいの状態や教育的ニーズに応じた指導方法や指導内容等、実践的な指導力を高める。
- 2 対象 幼稚園、認定こども園、保育所、小・中学校、義務教育学校、高等学校及び支援学校の教員

募集人数 25名

- 3 日時等 4月1日以降の変更部分に網掛けをしています。

回	日時	主題等	講師等
1	9月25日（木） 14:00～17:00	病気のある子どもの理解及び指導の実際 〔実践発表・講義・演習〕	桃山学院大学 教授 原田 大輔 公立学校教員等

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他
 - （1）受付は30分前から。
 - （2）来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 - （3）大阪府教育センターに、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
 - （4）（受講決定後～当日）Plantで、事前連絡や課題等がないか確認すること。

- 6 担当室 支援教育推進室

令和7年度 支援教育実践研修E（病弱に関する内容） シラバス

1 目的

病気のある子どもの教育に関する知識や技能についての認識を深め、一人ひとりの障がいの状態や教育的ニーズに応じた指導方法や指導内容等、実践的な指導力を高める。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標															職に応じた指標		
	Ⅰ			Ⅱ			Ⅲ			Ⅳ			Ⅴ			支援学校（学級）		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2	3
第4期																		
第3期										○	○							
第2期										○	○	○			○	○	○	○
第1期										○								
第0期																		

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	病気のある子どもの理解及び指導の実際	病弱の特性について理解を深める。 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の作成と活用の意義について理解を深める。	講義を通して、病弱の特性について学び、指導と支援の方法を考える。 ・講義、実践発表を通して、「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」に基づいた指導と支援の実際を学ぶ。 ・演習を通して、自立活動の指導について学び、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導と支援の工夫について知る。	